III 臨床編
III-8 消化器疾患

用語	かな	欧文表記	略語	同義語・関連語	解説
アフタ	あふた	aphtha			口腔の粘膜によくできる直径1~3 mmの円形で、痛みを伴う浅い潰瘍。
アフタ性口内炎	あふたせいこないえん	aphthous stomatitis			アフタを伴う口腔粘膜の炎症。
萎縮性胃炎	いしゆくせいえん	atrophic gastritis	AG		慢性に萎縮した胃粘膜をもつ胃炎（ヘリコバクターに關与することが多い）。
胃食道逆流症	いしよくどうぎゃくりゅう	gastroesophageal reflux diseases	GERD		噴門括約筋の収縮力が低下し、胃の一部が食道の方にヘルニアを起こした食道胃裂孔ヘルニア時に、胃酸が食道下部を傷付ける病態。
イレウス	いれうす	ileus		腸閉塞	広義には、腸管麻痺と腸閉塞の両者を含み、狭義には腸管麻痺をさす。
炎症性腸疾患	えんしょうせいちょうしつかん	inflammatory bowel disease	IBD	潰瘍性大腸炎、クローン病	寛解と再燃を繰り返す消化管に炎症を引き起こす原因不明の疾患の総称。潰瘍性大腸炎とクローン病がIBDの代表的な2疾患。
炎症性腸疾患の活動度分類（特にクローン病）	えんしょうせいちょうしつかんのかつどうぶんるい（とくにくろーんびょう）	The International Organization for the Study of Inflammatory Bowel Diseases (IOIBD) assessment score	IOIBD		炎症、栄養のマーカー、および末梢白血球数を1~2週毎に検査する10項目からなるクローン病の活動指数。
潰瘍性大腸炎	かいようせいだいちょうえん	ulcerative colitis	UC	炎症性腸疾患	主として大腸の粘膜を侵し、びらんや潰瘍を形成する原因不明の大腸のびまん性非特異性炎症。
家族性大腸ポリポシス	かぞくせいだいちょうポリポシス	familial adenomatous polyposis	FAP		遺伝的に大腸に腺腫を多発し、発癌してくる病気。遺伝子異常。
下腸間膜動脈	かちょうかんまくどうみやく	inferior mesenteric artery	IMA		下行結腸、S状結腸、直腸の血流を支配する。
過敏性腸症候群	かびんせいだいちょうしゅうこうぐん	irritable bowel syndrome	IBS		通常の検査では腸に炎症・潰瘍・内分泌異常などが認められないにも関わらず、慢性的に腹部の膨張感や腹痛を訴えたり、下痢や便秘などの便通の異常を感じる症候群。
カプセル内視鏡	かぶせるないしきょう	capsule endoscopy	CE		カプセル型の小型内視鏡で、小腸病変の抽出に優れた検査、クローン病の粘膜評価に使用することが多い。
顆粒球除去療法	かりゅうきゅうじょきよりょうほう	granulocytapheresis	GCAP		酢酸セルロース製ビーズに主に顆粒球を吸着させ、除去する治療法。潰瘍性大腸炎やクローン病に対して保険適用。
顆粒球単球除去療法	かりゅうきゅうたんきゅうじょきよりょうほう	granulocyte/monocyte apheresis	GMA		酢酸セルロース製ビーズに主に顆粒球を吸着させ、除去する治療法。潰瘍性大腸炎やクローン病に対して保険適用。
カルチノイド症候群	かるちのいどしゅうこうぐん	carcinoid syndrome	CS		分泌されるセロトニンで惹起され、突発性皮膚紅潮、下痢、痙攣性腹痛、腸蠕動亢進を起こす。尿中5-HIAAが増加する。
急性膵炎	きゅうせいすいえん	acute pancreatitis	AP		膵機能の破綻による膵臓の急性炎症である。アルコール、胆石、高トリグリセライド血症などが原因となる。
虚血性腸炎	きょけつせいちょうえん	ischemic colitis	IC		大腸に血液を送る動脈血が一時的に虚血になることで起こる。多くの場合は一過性の経過であり、自然軽快する。
クローン病	くろーんびょう	crohn's disease	CD		本疾患は原因不明で、主として若年者にみられ、潰瘍や線維化を伴う肉芽腫性炎症性病変からなり、消化管のどの部位にも起こりうる。
クローン病の活動性指数	くろーんびょうかつどうしすう	crohn's disease activity index	CDAI		クローン病の治療評価を客観的にするための疾患活動性をみたIndex。
憩室出血	けいしつしゅっけつ	diverticular hemorrhage			主に大腸に発生した憩室からの出血。特に高齢者で下血の原因となりやすい。
抗TNF α 抗体製剤	こうていーえぬえふあるふあこうたいせいざい	anti-TNF α antagonist	anti-TNF RA		生物学的製剤のひとつ。TNF α の作用を阻害することにより炎症を抑える薬剤。炎症性腸疾患や関節リウマチなどの治療に用いられている。
在宅経腸栄養	ざいたくけいちょうえいよう	home enteral nutrition	HEN		入院をせず、在宅で経管的または経口的に成分栄養を行う治療法。
在宅中心静脈栄養	ざいたくちゅうしんじょうみやくえいよう	home parental nutrition	HPN		経腸的に十分な栄養を摂取できない患者に対して、在宅で高カロリー輸液による経静脈栄養を投与する方法。中心静脈ポートを留置する場合が多い。
消化管間質腫瘍	しょうかかんかんしつしゅよう	gastrointestinal stromal tumor	GIST		消化管の粘膜の下層から発生する粘膜下腫瘍の一種であり、粘膜から発生する癌とは異なる。粘膜下の腫瘍のため内視鏡ではSMTとして観察。
消化管リンパ組織	しょうかかんりんぱそしき	gut-associated lymphoid tissue	GALT		外界と接する気道や消化管の粘膜には明瞭な構造をもつリンパ組織が認められ、小腸にはパイエル板（Peyer's patch: PP）と呼ばれるリンパ小節が存在し、腸間膜動脈の根元には腸間膜リンパ節（mesenteric lymph node: MLN）と呼ばれるリンパ節群が分布する。これらを総称して腸管関連リンパ組織（GALT）と呼ぶ。
消化態栄養剤	しょうかたいえいようざい	low residue diet		ペプチド栄養剤	経腸栄養剤のうち、窒素源をペプチドとアミノ酸の形で配合したもの。消化吸収能が低下していても使用可能。
上腸間膜動脈	じょうちょうかんまくどうみやく	superior mesenteric artery	SMA		腹部大動脈より分岐し十二指腸動脈、右結腸動脈、中結腸動脈、空腸動脈、回腸動脈に分布する動脈。
上腸間膜動脈閉塞症	じょうちょうかんまくどうみやくへいそくししょう	superior mesenteric artery occlusion	SMAO		上腸間膜動脈が血栓や塞栓で閉塞し、広範囲の小腸虚血を来たした状態。緊急手術や血管内治療を要する場合が多い。
食道静脈瘤	しよくどうじょうみやくりゅう	esophageal varices	EV		肝硬変等で門脈圧上昇のため、食道の静脈が膨らんだ状態。破裂すると大量の吐血の原因になる。
成分栄養剤	せいぶんえいようざい	elemental diet	ED		経腸栄養剤のうち、窒素源をアミノ酸の形で配合したもの。消化が必要ないため吸収が容易。脂肪の含有量は少ない。
大腸菌	だいちょうきん	escherichia coli	E. coli		大腸に多数存在するグラム陰性、中等大桿菌。細胞壁には、エンドトキシンが存在する。
ダブルバルーン内視鏡検査	だぶるばるーんないしきょうけんさ	double-balloon enteroscopy			内視鏡とオーバーチューブにそれぞれバルーンをつけ、バルーンで腸管を押さえながら内視鏡とオーバーチューブを交互に進める内視鏡検査。全小腸を観察可能。
単純性潰瘍	たんじゆんせいはいよう	simple ulcer		非特異的炎症性潰瘍	回盲部に好発する原因不明の打ち抜き潰瘍であり、組織像は腸管ベーチットの潰瘍と同様の非特異的炎症。
短腸症候群	たんちゅうしゅうこうぐん	short bowel syndrome	SBS		腸管の大量切除に伴って生じる消化吸収障害に起因して、栄養障害をはじめとした様々な病態が生じる症候群。
チェリーレッドスポット	ちえりーれつどすぽつと	cherry red spot	CRS		食道静脈瘤のred spotの中でも出血し易いとされる部分。
中毒性巨大結腸症	ちゅうどくせいきょだいけつちゅうしゅう	toxic megacolon	TM		潰瘍が深くなり固有筋層と神経叢が露出することにより、大腸の筋収縮機構が破綻して進行性に大腸の異常拡張をきたした状態。
超音波内視鏡	ちょうおんばないしきょう	endoscopic ultrasonography	EUS		先端に超音波振動子がついた内視鏡を口から胃・十二指腸に挿入し、胆嚢、胆管、膵臓などを観察する検査。
腸肝循環	ちょうかんじゆんかん	enterohepatic	EHC		胆汁中の胆汁酸のように、胆嚢より十二指腸に放出された後、大部分は回腸末端で再吸収されて再び肝臓へ戻ること。
腸内細菌共通抗原	ちょうないさいきんきょうつうこうげん	enterobacterial common antigen	ECA		腸内細菌が共通して持っている抗原。

腸閉塞	ちょうへいそく	intestinal obstruction	IO	ileus	腸内容の肛門側への移動が阻害された状態で、機械的な腸管の閉塞と機能的に腸管蠕動麻痺の場合がある。
内視鏡的粘膜下層剥離術	ないしきょうてきえんまくかそうはくりじゅつ	endoscopic submucosal dissection	ESD		経内視鏡的に高周波切除器を用いて病変の周囲を全周性に切開し、粘膜下層を剥離することにより病変部を切除。
内視鏡的逆行性胆膵管造影	ないしきょうてきぎゃっこうせいいたんすいかんぞうえい	endoscopic retrograde cholangiopancreatography	ERCP		胆管・膵管が開口する十二指腸乳頭より内視鏡的に細いチューブを入れ、造影剤を注入し、造影検査をする方法。
内視鏡的食道静脈瘤硬化術	ないしきょうてきしょくどうじょうみやくりゅうこうかじゅつ	endoscopic injection sclerotherapy	EIS		食道・胃内視鏡検査下に食道静脈瘤硬化薬を内視鏡用の針を穿刺し注入する治療法。
内視鏡的食道静脈瘤結紮術	ないしきょうてきしょくどうじょうみやくりゅうけっさつじゅつ	endoscopic variceal ligation	EVL		食道・胃内視鏡検査下に食道静脈瘤を収縮性の強いゴム輪で結紮する治療法。
内視鏡的乳頭括約筋切開術	ないしきょうてきにゅうとうかつやくきんせつかいじゅつ	endoscopic sphincterotomy	EST		胆道の石などを除去する際に、乳頭部分を広くするため、乳頭括約筋を切開し、除去しやすくする手術。
内視鏡的ネクロセクトミー	ないしきょうてきねくろせくとみー	endoscopic necrosectomy			重症急性膵炎後に生じる腹腔内の壊死物質などを、内視鏡的に除去する治療法。経消化管的に行われる場合が多い。
内視鏡的粘膜切除術	ないしきょうてきねんまくせつじょじゅつ	endoscopic mucosal resection	EMR		直径2 cm以下の小さな粘膜内にとどまる癌に対する治療で、粘膜下層に生理食塩液などを注入することにより、病巣を固有筋層から浮かせて高周波を用いて切除する方法。
粘膜下腫瘍	ねんまくかしゅよう	submucosal tumor	SMT		胃の粘膜層よりも深いところにある胃壁内の病変によって、粘膜が胃の内腔に突出した隆起の総称。
白血球除去療法	はつけっきゅうじよきりょうほう	leukocytapheresis	LCAP	リンパ球除去療法、顆粒球除去療法、血球成分除去療法	ポリエステル不織布などの繊維吸着剤に白血球を吸着させ、患者血液から白血球を選択的に分離・除去する治療法。1回の治療で平均 1.6×10^{10} 個の白血球を除去する。潰瘍性大腸炎や関節リウマチに対して保険適応が認められている。
半消化態栄養剤	はんしょうかたいえいようざい	defined formula diet			経腸栄養剤のうち、窒素源をタンパク質の形で配合したもの。吸収するためには消化が必要。
非閉塞性腸管虚血	ひへいそくせいちょうかんきょけつ	non-occlusive mesenteric ischemia	NOMI		器質的閉塞を伴わない腸管血流障害により腸管の虚血や壊死をきたす疾患。
病状重症度分類	びょうじょうじゅうしやうどぶんるい	disease activity index	DAI		臨床重症度と内視鏡の重症度を両方を加味した重症度分類。排便回数、血便量、S状結腸内視鏡検査による粘膜所見、医師の全般的評価4項目で評価する。
5-アミノサリチル酸	ふあいぶあみのさりちるさん	5-aminosalicylic acid	5-ASA		経口または注腸で投与。軽・中症の主に潰瘍性大腸炎とクローン病の炎症をコントロールし再燃予防と寛解維持する。
腹水	ふくすい	ascites			腹腔内に液体が貯留した状態である。肝硬変は主要な原因となる。
腹壁反射	ふくへきはんしゃ	bauchdecken reflex	BDR		表在反射の一種で、患者を仰臥位にさせハンマーの柄、菌軍、鈍い針などで腹壁を外から正中側にこすると、正常者では腹壁筋が収縮する反C型肝炎ウイルスが原因の肝炎が6ヶ月以上持続している状態。
慢性C型肝炎	まんせいしーがたかんえん	chronic hepatitis C			
輸入脚症候群	ゆにゅうきやくしょうこうぐん	afferent loop syndrome	ALS		ビルロートII法で胃再建術後の輸入脚に食塊が停滞して起こる諸症状。
UCの臨床活動指数	りんしょうかつどうしすう	clinical activity index	CAI		治療効果や疾患活動性の評価として使用されている点数化した潰瘍性大腸炎に対する疾患活動性のindex。